

東京海区漁業調整委員会の委員候補者の推薦・応募の結果について（令和2年9月1日～9月30日） 9月30日時点結果報告

募集人数15名に対し、推薦8名、応募6名 合計14名 内漁業者等8名

区分	推薦を受けた者及び募集に応じた者							推薦者					推薦または応募の理由	
	氏名	年齢	性別	職業	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営状況	経歴（最終経歴のみ）	名称	代表者	目的	構成要件	構成人数		
漁業者代表	川村 松男	66	男性	漁業	漁業者	昭和47年～一本釣り漁業	H24～	元町漁業協同組合 代表理事組合長	東京都漁業協同組合連合会	代表理事 会長 関 恒美	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって、所属員の経済的、社会的地位を高めることを目的とする。	水産業協同組合	正会員 16 準会員 1	元町漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	小島 智彦	62	男性	漁業	漁業者	昭和48年～一本釣り漁業	H30～	東京東部漁業協同組合 代表理事組合長						東京東部漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	佐々木 隆幸	45	男性	漁業	漁業者	平成7年～サンゴ漁業	R01～	小笠原母島漁業協同組合 代表理事組合長						小笠原母島漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	鈴木 正明	60	男性	漁業	漁業者	昭和55年～建切網漁業	H27～	にいじま漁業協同組合 代表理事組合長						にいじま漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	関 恒美	67	男性	漁業	漁業者	昭和47年～曳縄底魚一本釣り漁業	H19～	三宅島漁業協同組合 代表理事組合長						三宅島漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	田中 國治	68	男性	漁業	漁業者	昭和43年～底魚一本釣り漁業	H8～	八丈島漁業協同組合 代表理事組合長						八丈島漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	浜川 祝男	65	男性	漁業	漁業者	昭和54年～底魚一本釣り漁業	H30～	神津島漁業協同組合 代表理事組合長						神津島漁業協同組合代表理事組合長であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。
	丸 裕二	55	男性	漁業	漁業者	昭和61年～一本釣り刺し網漁業	H20～	芝漁業協同組合 代表監事						芝漁業協同組合代表監事であり、漁業者代表委員として、当地区の漁業者の意見を集約し、発言できる立場にある。

区分	推薦を受けた者及び募集に応じた者							推薦者					推薦または応募の理由
	氏名	年齢	性別	職業	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営状況	経歴（最終経歴のみ）	名称	代表者	目的	構成要件	構成人数	
学識 経験	有元 貴文	69	男性	東京海洋大学 名誉教授	否	無し	H29.04～ 東京海洋大学 名誉教授	—	—	—	—	—	大学での漁業技術・漁業管理に関する教育・研究の経験を社会に還元する機会であり、離島振興のための水産業の展開に関心があり、漁業調整委員会に応募する。
	井上 潔	71	男性	無職	否	無し	H29.07～ R01.11 (一社)全国水産技術者協会 理事長	—	—	—	—	—	東京都島嶼地域の重要産業の一つである沿岸漁業の振興への寄与
	岩田 光正	75	男性	無職	否	無し	H29.10～ R02.03 全国水産加工業協同組合連合会 (嘱託)	—	—	—	—	—	私は東京都に37年間奉職し、その間に水産課長、水産試験場長など水産関係の職場を多数経験しており、東京都の水産情勢に関して十分な知見を有しております。 また、東京海区漁業調整委員会委員を平成20年から務めており、漁業調整委員会の目的、機能等を承知しております。
	馬場 治	65	男性	大学教員	否	無し	H29.04～ 東京海洋大学海洋生命科学部 海洋政策文化学科 教授	—	—	—	—	—	現在、東京海区漁業調整委員会の学識経験委員を務めており、来年3月末をもって任期を迎えますが、引き続き学識経験委員として東京都漁業の抱える各種課題解決と発展に貢献したいと考えています。大学では、広くは漁業経済学及び漁業管理政策に関する講義を担当していますが、中心的な講義科目は「漁場利用制度論」と「漁業管理論」です。中でも「漁場利用制度論」では、日本の漁業権制度の成立過程やその意義、効果などを教育しており、海区漁業調整委員会における中心的な審議項目と深く関わる内容であり、委員会での審議に学識の立場から深く貢献できると考えています。 また、国の各種委員会委員として、水産政策審議会企画部会会長など他のたくさんの委員経験もあり、現在も、養殖業成長産業化推進協議会会長、養殖魚需給検討会会長を務めており、現在の国の水産政策に深く関わっています。さらに水産業・漁村活性化推進機構が窓口となって実施している「もうかる漁業」への申請を審査する中央協議会会長も務めており、現在の漁業現場での課題やその解決に向けた取組実態に関する知見も有しており、これらの委員会経験からも東京都漁業の発展に貢献できると考えて応募いたします。

区分	推薦を受けた者及び募集に応じた者							推薦者					推薦または応募の理由
	氏名	年齢	性別	職業	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営状況	経歴（最終経歴のみ）	名称	代表者	目的	構成要件	構成人数	
中立	前田 福男	77	男性	特別職 地方公務員	否	無し	H25.12～ 利島村長	—	—	—	—	—	現状、東京海区漁業調整委員会の公益代表委員であり、これまでの委員会の経験を活かすとともに、漁業以外の産業発展も踏まえた公平な立場で引き続き漁業調整と漁業管理に尽力したい。
	山下 奉也	67	男性	特別職 地方公務員	否	無し	H23.02～ 八丈町長	—	—	—	—	—	第4期東京海区漁業調整委員会の公益代表委員の現職であり、これまでの漁業調整委員会での経験を活かすとともに、漁業以外の産業発展も踏まえた公平な立場で、引き続き漁業調整と資源管理に尽力したい。